



APEC プロジェクト（日本提案企画）

APEC ワークショップ: 気候変動が及ぼす海洋の環境・資源への影響

【APEC プロジェクト】

- プロジェクトとは APEC の目指す持続的経済成長と繁栄のため、APEC 首脳会議や大臣会合と並行して実施される実質的な協力の取組み。プロジェクトの実施形態は、セミナー、出版物作成、研究、ワークショップ等。
- 各メンバーが提案した企画は、他のメンバーや事務局による厳格な評価や審査を経て資金額とともに承認される。本ワークショップの企画は経費全額が提供される資金額 12 万米ドルのプロジェクトとして承認された（2014 年上半期に提案された約 230 件の企画のうち、経費全額が資金提供されたプロジェクトは 1 件のみ）。

【ワークショップの背景】

- 気候変動の影響は、海洋環境や海洋からの恩恵に対する重大な脅威。
- 海水温上昇、海面上昇、海水酸性化、及び北極海の海水融解等、海洋環境は不可逆的に変化。将来にわたる人類による海洋の利用への不確実性は高まってきている。

【目的】

- 気候変動が及ぼす海洋への影響に関する国際的な認識深化

【最終的に達成すべき目標】

- 気候変動が及ぼす海洋環境や海洋利用に係る、(1) 科学的知見, (2) 被害軽減への対応例、及び(3) 環境変化に対する革新的取組を伴う適応成功例、の共有。
- 気候変動が起因する海洋環境変化への経済的・社会的な適応の取組を通じ、海洋関連経済活動を確実に後押しする一貫性ある政策の強化。

【開催時期・場所・プログラム内容】

2015 年 5 月に、フィリピン（来年議長国）において、APEC 高級実務者会議の開催に併せ、以下項目についてレクチャー形式で開催予定。

1. 気候変動の海洋への影響
2. 海洋への影響の顕著な事例（海水酸性化等）
3. 海洋生態系への深刻な影響
4. 北極海（もともと気候変動の影響を受ける海域）
5. 漁業や生態系サービスの脆弱性
6. 気候変動の脅威に対抗するための環境適応（パネル・ディスカッション）